

29 父は、中国の少年がむかで風をあげているのを見つけて、すっかりじつぱんしちゃって、それを手に取って見せてもらったんですよ。

30 むかで風というのは、小さな田い風を何まいもつなげたものです。31 風好きの父でしたが、むかで風を見るのは、初めてだったんですよ。

32 風は日本だけのものではない、世界じゅうにもあるんだというのを知った、父の感激はどんなだったでしょう。

33 父が糸の付け方や、風と風のつなげ方や、バランスのとりの方などを、あまり熱心にいつまでも見ているので、少年は、風を取らねやしないかと心配したんですよ。

文図・語彙・文法

● 書かれているなかみ (映像・感情・説明)

吉野さんから聞いた話。中国で、むかで風を見て、風づくりが大好きな父の好奇心に火をつけてしまった。逆にいえば、それまでの父は、どうだったのかということも想像がつかずうだ。

説明的文章で書いてあるので、そこに含まれる映像を削っていくのがおもしろいかもしれない。ここまで学習してわかっている父の人間像、行動などをもとに、どんなことを話し、どんなふうに行動したのか、母には、見たかのように思ええがくことができたろう。読みではなく、想像になってしまいうが、根拠のある想像は、許されてもいいのではないだろうか。

T さて、お父さんが兵隊で行った中国までも風を作っていたのきな人だったということだったんだけど。それが、どういことが、吉野さんは教えてくれている。それが、これからあとに書いてあるよ。

T この文も、いろんなことが書いてあるね。だれのじつ。

C 父のじつです。

C 中国の少年のじつです

T 二人、出てくるね。まずは、父のほつを見ってみるよ。父はじつじつ。

C 見た。見ると

C じつぱんした。じつぱんじつぱん。

C 手に取って

C 見せてもらった。見せてもらったんですよ。

T 父のじつだけでも、たいていあるね。

C まずは、「見ると」に書いてある。何が？

C むかで風

C 中国の少年がむかで風を揚げてくるのを

T そう、これもちゃんと文になっている。だね？

C 中国の少年が

T どうしている？

C むかで風をあげている

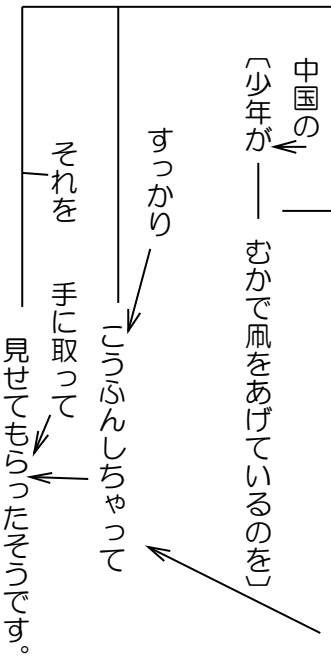
T むかで風は、あとで出てくるので、ここではおいといて、中国の少年だ。わかることは？

C 中国人の男の子

C 中国の小さな子

T 少年っていうんだから、みんなみたいな子だ。その子は、中国の子だ。日本にいつか中国国境へ。

29 父は、中国の少年がむかで風をあげているのを見つけて、すっかりじつぱんしちゃって、それを手に取って見せてもらったんですよ。



すつつかし「魁」

1 残るものなごねませ。じつじつじつ。「仕事が一かたじつ」

2 完全にある状態になつてくるのをみまへつ。「まいったへ。」からだはもう「よご」。「春だ」

3 むがすががごごごませ。まっは。まっは。まっは。まっは。まっは。

4 難がなぐ、見はえのすめなませ。すつま。すつま。

じじぶん【興奮・興奮・興奮】「各スル」

1 感情が高ぶるじじぶ。「一口口数が多くなる」。「状態」

2 生体またはその器官・組織が、内外の刺激に反応して、休止状態から急速に活動状態になること。特に、神経細胞や筋繊維が活動電位を生じるじじぶ。

3 気分が病的に高揚した状態。カフェイン・アルコールの急性中毒や躁病そつびやの患者などに認められる。

\*「〜している」も、映像としては扱ったほうがいい。父は、まず、少年を見たのではなく、空高く上がる風を見たのだろう。移動中だろうか。その先に、高く上がっている風があったのだ。その下をたどってみて、少年が上げていることがわかったのだろう。

C 敵。

C 戦争の相手の国

T そうだったよね。戦争中だ。そんな中で、少年が風をあげている。ということは、お父さんが行ったところは、撃ち合いつつとか戦いが激しいのかな。

C ううん？戦争している感じじゃない。

T 子どもが、たこあげをしているくらいだから、ここは、まだ戦いが始まっていないのかもしれないね。そんなところ、お父さんは、たこあげを見た。「見ると」だから？

C きっかけです。

C 中国に行ってから、風は見えないんじゃないかなあ。

T たこあげを見たのをきっかけに、お父さんの心が動いてきたんだ。

そこで、お父さんは、どうなった？

C こうぶんしちゃった。

T こうぶんって？

C 気持ちがハイになった。

T そう、気持ちが高ぶるっていうんだけど、ドキドキしてきました。テンションが上がってきたんだ。しかも、ただこうぶんしではなく？

C すっかりこうぶんした

C すごくこうぶんしたんだ。

T そうなんだ。すっかりというのは、いいけど、完全にとか、まったくとかと同じで、気持ち全部が風のほうに行ったという感じだ。

書いてないけど、風を見たとき、お父さんはどんなふうに感じたと思う？

C うれしくなって、走っていた。

C 「わあ、風があがっている」と叫んだ。

T そうだね。こうぶんしたっていうんだから、何かあったんだろう。興奮しているように感じたのは、吉野さんだから、周りの人から見ても、お父さんのようすは、普通とほら違ったんだよ。きつと、いろいろいたりしたのかもしれない。\*「〜してしまっ」の扱いは？

そこで、どうしたかというのを、

C 風を手に取った

C 見せてもらった

T 手に取って、というのは？

C ただ見ただけじゃなくて、風をもった。

T そうだね。見ているようすだ。手に取って見たんだ。

とすると、ここでも何かあっただろうね。だまって勝手にとっただろうか？

C ちょっと見せてくれて言った。

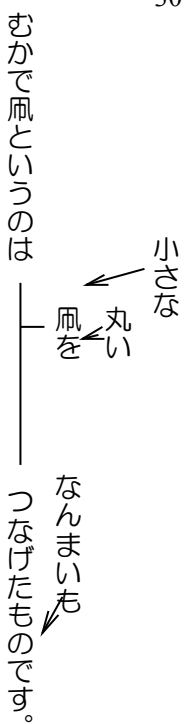
C 少年のところに言って、見せてとたのんだ。

T うん、お父さんのことだから、何か言っただろう。顔も？

C うれしそうな顔。

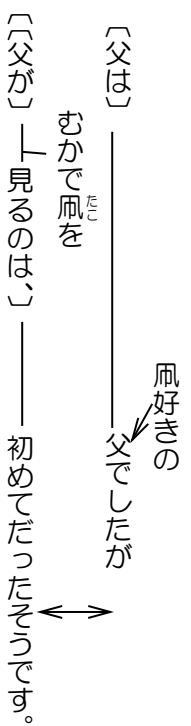
C 笑顔。

T そうだったかもしれないね。日本から中国に来て、それまで風のことなんて考えないこともできなかったかもしれない。それが、目の前に風があったから、じっとしておれなかった



んだろうね。でも、あいては、中国の人。言葉は？  
 C わからない。  
 C 言葉は通じないよ。  
 T 相手は、中国の少年だから。言葉はわからない。そんな時に、敵の日本の兵隊が急にやってきて、訳のわからないことを言っ、自分があげている風をとって見始めた。少年からすると、どうだろう？  
 C 変なおじさん。  
 C 怖かった。  
 T 平和な時じゃないからね。敵の兵隊がやってきたんだから、少年は、怖かったかもしれない。そんな姿も、頭に思いうかべてみよう。

T さて、少年があげていた風だけど、何という風？  
 C むかで風  
 T 説明が書いてあるね。むかでだこというのは？  
 C 小さな丸い風をなんまいもつなげたものです。  
 T うん。形は  
 C 丸い  
 T 大きさは  
 C 小さい  
 T それが、一つじゃなくて？  
 C なんまいもつなげたもの。  
 T こういうのを、連風とも言っただけど。見たことない？  
 C テレビで見たことある。でも、丸くなかったよつな。  
 T うん、日本にも、連風はある。でも、日本の連風は、形がちがうんだ。名前もむかで風っていうんだから、どんな風なんだろう？  
 C むかでみたい。  
 C 足があって、グニャグニャしている。  
 T そうだろうね。むかでみたいになかったことしているんだろつね。\* できれば写真を用意。さし絵参照。



T さあ、そんな風だ。次の文を読むよ。  
 C まず、なんて？  
 C 風好きの父でしたが。  
 T 風が大好きな父だった。「が」でつながっているよ。前にも出てきたんだけどなあ。  
 C くいちがい。  
 T よく覚えていたなあ。そう、話ぐいちがうんだ。どう食いちがうかという？  
 C むかで風を見るのは、初めてだった。  
 T 何がくいちがう？  
 C 風好きだから、いろんな風を知っている。でも、むかで風は初めて見た。  
 T 風のことなら、何でも知っているお父さんだったけど、むかで風は、初めてだったんだね。だから、よけいに？前の文を読み返してみて。  
 C すっかりこうふんした。  
 T そうなんだ。風があがっているだけでもうれしいのに、そ

楓は——日本だけのものではなく  
 世界中どこでもあるんだということを知った  
 父の感激は—————「———」  
 父の感激は———「———」

かんげき【感激】(名)スル

人の言動や物事のすばらしさに心を打たれ、感情が高まること。

「名演奏に」——「———」

れが初めて見る楓だった。だから、興奮したんだろうね。  
 これは、吉野さんが言ったことだから、お父さんは、吉野  
 さんたちに何か言ったんじゃないかなあ？  
 C こんな風、初めて見た。  
 C 風なら何でも知ってるおれだけど、こんなのは、初めてだ。  
 T こうぶんして、そんなことも言っただろうね。だから、吉  
 野さんも知っているんだ。

T 次の文。これは？最後になんて書いてある？

C どんなだったでしょう。

T 何は？

C 父の感激は

T どうだった？

C どんなだったでしょう。

T この物語は、よくこんな書き方がしてあるね。わかること  
 は？

C 父の感激は大きかった

C 父はすごく感激した

T 「でじょう」となっているから？

C 想像している

C すごく感激したんだろうなあと思っていて

T それは、だれが？

C 吉野さん。

C お母さん。

C わたし。

T うん。吉野さんが話してくれたことを聞いて、お母さんと  
 ちがそう思ったんだ。

で、その感激のなかみは？

C 風は、日本だけのものではなく、世界中どこでもあ  
 るんだということ。

C それを知ったこと

T つまり、お父さんは、風というの？

C 日本のものだと思っていた。

T それが、中国でも見たことない風を見た。風って、世界  
 中にあるんだと知って、感激したんだ。ところが、まっとうな  
 うだらうなあ？

C お母さんが思った。

T そうなんだね。お父さんのことをよく知っているから、ま  
 ったいものすごく感激しただろうと思ったんだ。お父さん、お  
 父さんは、吉野さんにも、そんな話をしたんだろうね。「中  
 国にも、風があるんだなあ」とか。

父が

糸の付け方や

凧と凧のつなげ方や

バランスのととり方などを

見ているので

←熱心に  
←あまり

少年は

心配したそうです。

凧をいじらねえしなにかと

あまり馴

1 度を越してしまっています。過度に。あんまり。「勉強するところからだと壊すよ」

2 (あとに打消しの語を伴って)特に取り立てていっほやどでないわい。そごほや。あんまり。「出来はあんなに」

T さて、次です。

C じいじには、二つのことが書いてあるよ。だれのじいじ。

C 父のじい

C 少年のじい

T 文がどこで区切れるか、わかるかな。キリるところに線を引いて。\*読んで、確かめる。

C では、まず、父のほうから。父は、どうした？

C 父が見ているので。

T 何を？

C 糸の付け方や

C 凧と凧のつなげ方や

C バランスのととり方などを

T などだから？

C ほかにも見ている。

C 絵とかも見ているかもしれない。

C 形も。

T そうだ。その見方が？

C 熱心に

C あまりに熱心に

C いじまて

T あまりに熱心とさうのほ。

C ものすいゝ熱心

C ひくひく見ている

C ひくひく返したりのじいじ

T そうだね。時間をかけて、じいじの凧はじいじになってるんだ。うい見たんだ。「見」「見」「見」「見」なだかだかだかだか。

C ちゃんとして、時間をきかかっています。

T 「の」

C 理由 原因

T そいつって、日本の兵隊が見ているので、少年は。

C 心配した。

C 凧をいじらねえしなにかと心配した。

T 少年は、凧をいじらねえしなにかと心配したんだ。お父さん、お父さん、中国語はわかるなら、少年は、少年は、どうしたんだ

と聞いて。

C 中国語は、「返って」い言った。

C 泣きそうな顔になった。

C 心配な顔で見していた。

T そうだろうね。敵の兵隊が自分の凧をいじって、いじまても返してくれないんだものね。心配になる。とらねるかもしれないと思ってもおかしくない。それくらい、熱心に夢中になって、お父さんは凧を見ていたんだ。

吉野さんたち戦友は、そんなお父さんを見た。最初は、どう思ったんだらうね。

C 変なヤツだなあと思った。

C 子どもみたいだと思った。

C 早く返してやれと言った。

T 普通の大人は、そんなことしないものね。もしかしたら、隊長さんに叱られたかもしれないよ。「何やってるんだ！」とかね。

---

そういう話を聞いて、お母さんは・・・？前のほうの文に書いてあったね。

C のんきだ。

C 戦争に行ってるまで、凧に夢中になるなんて、のんきだわとあきれた。

T そうだ。でも、奥さんとしては、もっと違った気持ちもあると思うけどね。それは、後で、また考えてみよう。